

社団法人私立大学情報教育協会  
平成21年度第2回政治学グループ運営委員会議事概要

I. 日 時： 平成21年10月13日(火)午前10時～正午

II. 場 所： 私情協事務局会議室

III. 出席者： 萩原委員、川島委員、吉岡委員  
井端事務局長、森下主幹、山野上係長

IV. 検討事項

1. 政治学学士力の詳細について

学士力確定に必要なコアカリキュラムのイメージや測定評価について、検討したところ、次のような意見があった。

(1) 到達目標の枠組、内容について

- 原案の枠組みを整理すると、1は基本的知識、2, 3は国際関係や制度、4は抽象的な事象の理解、5, 6は態度に関するもの。1は一般教養レベル、2, 3は専門レベルであり通常の授業で実施できるが、5, 6などは通常の授業ではなくゼミや卒論などを想定している。ただし、5, 6は測定評価が難しいという問題がある。
- 有権者リテラシーとして選挙制度を取り上げてはどうか。学士力としては選挙制度の歴史と現状、経過、意思決定権を持つものとしての行使なども含め選挙のことを分かっている必要があるが、統計的な能力までは求めなくてもよい。
- 卒業後、政治を専門としない学生のために、政治制度と人間行動の関係について一定の認識を得ることができるということに意義がある。
- 意思決定の仕組みが分かっているという目標を取り入れてはどうかという意見もあるが、そうすると行政学の分野にかかってくるのではないか。
- 学士力が行動に結びつくかという話になると、有権者としての行動力というところになるのではないか。しかし、それは政治学に限った話ではないという問題がある。
- 政治とは、意思決定と価値形成が重要である。5に、「問題を集合的意思決定により解決していく態度を身につける」という文言を入れてはどうか。

(2) コアカリキュラムのイメージについて

- 政治制度の仕組みの理解について、大統領制や国際政治などをコアカリのイメージに含めることで、幅広いイメージを持たせることができる。
- 4は、民主主義論、安全保障論、平和学などがイメージできる。
- 5のコアカリキュラムのイメージとして、フィールドワーク、調査実習、グループディスカッションなど含まれるのではないか。
- そのほか、コアカリキュラムのイメージとして、思想史(欧、日)、行政学、政治史、政治理論、政治哲学、比較政治、政治過程論、立法課程論、地方自治(行政)、隣接である憲法、マスコミなどがある。これらを今後到達目標に合わせて分類することとする。

(3) 測定方法について

- 5, 6は知恵、総合力を評価したいので、グループディスカッション、ディベート、長い文章、論文などで測定してはどうか。

2. 今後の進め方

今回、意見があがった内容をもとに、次回改めて資料化し、引き続き検討を行うこととなった。なお、次回委員会は10月13日(月) 午前10時より開催することとなった。